

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・20年かけて作り上げてきた「川を生かしたまちづくり」が軌道に乗り始めた。月1回開催の「とくしまマルシェ」も定着してきている。
		スーパー（店長）	・今後さらに高単価な高品質商品や高機能商品の動きが良くなるとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・もう少し気温が下がれば、アウターも売れ、少しは売上も増加し景気も良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の投入やモデルチェンジの効果に少し期待している。
		住関連専門店（経営者）	・耐久財を販売しているので、消費税増税後は売上が伸びなかったが、底を打ったとみている。今後、多少は売上が増加するのではないかと。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・10～11月は地元の秋祭りや自店の周年祭があり、年末の12月にかけて売上面は少し良くなると期待している。
		観光型旅館（経営者）	・10～12月の3か月の予約状況が昨年より少し上向いている。
		タクシー運転手	・秋になり遍路関連の乗客が少しずつ増えてきている。
		通信会社（営業担当）	・冬モデルの新機種の発売が予定されており、更に需要が拡大すると想定している。
	通信会社（営業担当）	・本格的な冬商戦に突入し、前年同期以上に販売数の伸びが期待できる。	
	競艇場（職員）	・年末にかけて、SGグランプリを筆頭に、チャレンジカップ・賞金女王等大きなレースが開催され、売上が期待できる。	
	住宅販売会社（従業員）	・今月は来場者が増えていることから、今後も来場者が増え、売上も伸びていくと期待している。	
	変わらない	商店街（事務局長）	・今後も都心に集中する人の流れに歯止めがかからず、地方はより疲弊していくものと思われる。
		商店街（代表者）	・今後、更なる消費税増税が予測されるため、顧客の金銭感覚も厳しくなってくる。
		商店街（代表者）	・消費税増税以降、消費者の財布のひもが固くなっているなかで、8月の天候不順もあり、底割れ状態が続いている。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・特に改善されるような要因が思い当たらない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・繁華街の店舗の閉店が続く、人通りも少ない。高額商品の動きも鈍くなっている。
		百貨店（販売促進担当）	・食品や大型テナントなどは消費税増税後の落ち込みから回復に転じているが、主力の衣料品や宝飾・美術など高額品の回復が大幅に遅れている。
		スーパー（店長）	・年末に向けて、景気が良くなっていくような要素が感じられない。
スーパー（財務担当）		・生鮮食品の売上は増加傾向にあるが、客数の増加はあまり見込めない。全体の売上は変わらない。	
コンビニ（店長）		・売上は現状維持が続いている。	
コンビニ（総務）		・来店客数の減少分を企業努力による客単価増でカバーしている状態である。景気が上向き気配はなく、この状態が続くとみている。	
衣料品専門店（経営者）	・消費税増税の影響は一段落している。		
衣料品専門店（総務担当）	・物価上昇の動きから、節約志向が強くなっている。商品の仕入単価も上昇しており、売上へのマイナス影響が強くなる。		
家電量販店（店員）	・冬の賞与の支給状況で良くなる可能性はあるが、買い控えは続くともみている。		
乗用車販売店（従業員）	・新車受注台数の前年比増は、今期中はむずかしい。		
乗用車販売店（従業員）	・秋から冬のボーナス商戦は、新型車の投入予定もなく、販売台数が増加する見込みがない。		
乗用車販売店（営業担当）	・今は来店客数の増加が販売台数増につながっておらず、今後も期待できない。		
乗用車販売店（役員）	・例年であれば、9月頃から販売量・受注量が上昇してくるが、今年は上昇していない。現状より良くなるとも、悪くもなるとも思わない。		
その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・原材料の高騰により仕入原価が上昇しており、その影響が、2～3か月先に顕著に表れると予測する。		

		旅行代理店（支店長）	・秋の訪れで国内旅行は順調に申込増加が予想されるが、反面海外旅行は円安の状況が続けば大幅な需要の落込みが懸念される。
		通信会社（企画）	・季節要因もあるが、新サービスの投入で、現状と変わらないとみている。
		通信会社（支店長）	・株価も16,000円台を突破したことから景気は悪くなるとは思わないが、良くなる要因もない。
		ゴルフ場（従業員）	・予約状況は若干上向いてきているが、客単価が上がらず、売上が伸び悩んでいる。
		美容室（経営者）	・特に変化ない。
		設計事務所（所長）	・老朽化している施設が多くなっており、建て替えたいという客は結構いるが、高騰している建築費の動向を見極めて様子が見える。
	やや悪くなる	スーパー（企画担当）	・来店客数は伸び悩んでいる中、単価上昇が続くのは厳しい。ドラッグ業界等の他業態と、同じものなら安い方を買うという買い分けがさらに進んでいくとみている。
		スーパー（統括担当）	・消費税は増税したが、収入は上昇しないことから、販売は苦戦している。
		コンビニ（店長）	・改善する要因が見当たらず、現状推移か、さらに悪化するのではないかと。夏の賞与支給時期にマイナスに転じた経緯から、冬の賞与支給時期についても好転することは見込み難い。
		その他小売[ショッピングセンター]（副支配人）	・本当に欲しいものだけを、必要な時に購入する客が増えてきている。
		都市型ホテル（経営者）	・来月からバス料金が値上げするという話を聞く。そうなるかと景気は落ち込むのではないかと懸念を持っている。
		タクシー運転手	・年末が近づけば遍路関連の乗客は減少する。このまま下降傾向で推移するとみている。
		美容室（経営者）	・さらなる消費税増税への不安から、節約志向の消費者が多いように見える。
	悪くなる	一般小売店[酒]（販売担当）	・酒類の一部値上げが発表され、ますます消費者の財布のひもが固くなる。
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	食料品製造業（商品統括）	・食品製造業において、これまで人員削減を進めてきたが、ここにきて人員確保に向かいつつある。
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・これから年末需要に向かうので、少しは良くなってくる。
		鉄鋼業（総務部長）	・2015年デリバリーの船舶関連の受注の先取り期待感が残っている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・一部電力会社が再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づく買取契約の新規締結の保留を決めたことで、非常に危機的な思いを抱いている。
		建設業（経営者）	・8月の台風災害関連の発注があり、数か月先は、少し良くなるとみている。さらに自治体の防災・減災関連の補正予算執行も好材料となっている。
		公認会計士	・経営者から設備投資についての税制面に対する質問が多くなってきている。また銀行融資もスムーズに受けられる企業が増えているようで、設備投資を前向きに考えたい企業が増えてきている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・スーパー等の得意先の売上が上向いておらず、受注量も増えていない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・海外の状況に注意は必要であるが、当面の状況は変わらないとみている。
		建設会社（経理担当）	・技術職員や職人の不足、原材料の値上げなどで景気は好転には至らない。
		建設業（経営者）	・民間工事が増えなければ、業界の景気は上向かない。
	輸送業（経営者）	・不安も期待もない。	
	輸送業（営業）	・天候不順から取扱物量が低下した8月に引き続き、9月も取扱物量の増加はみられなかった。あらゆる商材の消費が鈍化しており、景気の低迷感を強く感じる。10月以降は取扱物量の増加を期待するが、得意先からはそれを裏付ける明るい話題は聞けなかった。	
	通信業（部長）	・景気の先行きが不透明で今後も改善が見込めないため現状が大きく変化することは無い。	
	広告代理店（経営者）	・地方では景気回復が遅れており、乗用車販売会社等の得意先では売上の前年割れが続いている。そのため、得意先は慎重であり、広告予算の実行が遅れるのではないかと。	
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	輸送業（支店長）	・円安の進行と各種経済指標の悪化により、景気の後退がみられる。
雇用	良くなる	-	-

関連 (四国)	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・消費増税後、小売業は低調な推移を続けている。製造業も顕著な回復がみられず、大幅な求人増は見込めない。
		人材派遣会社（営業）	・年末に向けて季節的な人材を調達できるかが、来年の景気を大きく左右する。
		求人情報誌（営業）	・求人・採用の状況をみていると、採用マッチングの状況が厳しく、特に地方においては良質な人材の確保ができない企業が多い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・さらなる消費増税となれば、店主の積極的経営への回帰は確実に遅れる。消費者も生活防衛のため消費を控える動きが続くだろう。
		職業安定所（職員）	・月間有効求人倍率は、前月比0.02ポイント減少したが、前年同月比では0.11ポイント上昇している。
		職業安定所（職員）	・求職、就職数ともに減少傾向にあり、雇用の動きが鈍っている。
		職業安定所（職員）	・建設業関係の求人数は前年比で若干下回っているが、他の業界は求人数が増加しており、今後の景気の動向は変わらない。
		民間職業紹介機関（所長）	・企業に浮ついた高揚感はなく、今をどう乗り越えるかを模索している企業が多い。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・ドリンク関係などの夏の需要が伸び悩んだ。夏需要の生産が終り、今後は人員が減る。
	求人情報誌製作会社（従業員）	・9月末の異動時期と比較すると、年末にかけて求人数の減少が見込まれる。	
悪くなる	-	-	